

令和6年3月7日

登別市教育委員会
教育長 安宅錦也様

幌別中学校と登別中学校の
統合に関する学校統合委員会
会長 中川信市

幌別中学校と登別中学校の統合に関する中間意見について

令和9年4月に予定される両校の統合にあたって生じる課題への対応方法や環境整備について、次のとおり中間意見を提出します。

記

1. これまでの経緯と協議経過

登別市教育委員会は、特定校に関し学校統合に関する方針を決定した場合には、統合に関する詳細を決定するため、学校統合委員会を設置することとしており、本委員会は、令和9年4月に予定される幌別中学校と登別中学校の統合に関し、統合にあたって生じる課題への対応方法や環境整備について協議することを目的に設置されたものである。

協議にあたっては、委員会の下に、登別中学校区検討部会と新校区検討部会を設け、前者では現在の登別中学校区に関わる事項をテーマに、後者では統合後の新校区に関わる事項をテーマに具体的な検討を行った。各部会における協議経過は次のとおりである。

(1) 登別中学校区検討部会における協議経過

登別中学校区検討部会では、令和5年11月から令和6年1月にかけて3回にわたって会議を開催し、①新校区検討部会で協議する特色ある教育の取組について②幌別中学校への通学方法について協議を行った。

【各会議における協議経過】

●第1回（令和5年11月22日開催）

第1回会議では、①新校区検討部会で協議する特色ある教育の取組について協議し、「熊舞」と「鬼みこし」をテーマとする考えをまとめた。

②幌別中学校への通学方法については、遠距離通学費補助とスクールバスが想定されることを確認するとともに、それぞれのメリットとデメリットを整理した。また、通学方法を議論するにあたり、広く保護者の意見を聞くため、次回会議で意見交換会を開催することとした。

●第2回（令和5年12月20日開催）

第2回会議では、登別中学校、登別小学校、校区内未就学児童の各保護者を対象に意見交換会を開催した。意見交換会では、事務局である教育委員会より、遠距離通学費補助とスクールバス、それぞれのメリットとデメリットに関し説明があり、それを踏まえて意見交換を行った。参加者からは、公共交通機関での通学に関し、乗り遅れ時の待ち時間の長さや遅延発生時の状況把握の難しさに不安を持つ声が多く聞かれ、全員がスクールバスでの通学を望む意見だった。

●第3回（令和6年1月31日開催）

第3回会議では、意見交換会の開催結果も参考に、再度、幌別中学校への通学方法について協議した。部会員からは、公共交通機関で通わせることにより、子どもの成長を促す効果があるとの声も聞かれたが、中学生の場合、学年による成長の差も大きく、不安を感じる保護者がいる以上、その不安を解消する方策をとるべきとの意見があり、意見交換会で参加者全員がスクールバスを希望していたこともあり、通学方法はスクールバスとする意見をまとめた。なお、スクールバスの運行方法などについては、運行までにまだ間があることから、引き続き教育委員会から情報提供を受けつつ、バス事業者の動向が見えてきた段階で、あらためてPTAを中心に協議することを確認した。

（2）新校区検討部会における協議経過

新校区検討部会では、令和5年12月から令和6年2月にかけて3回にわたって会議を開催し、部会の協議テーマ（①校名／校歌／校章について②制服のあり方について③特色ある教育の取組について④生徒同士の事前交流事業について）のうち、①校名／校歌／校章について②制服のあり方について協議を行った。

【各会議における協議経過】

●第1回（令和5年12月7日開催）

第1回会議では、①校名／校歌／校章について②制服のあり方について協議を行った。このうち②制服のあり方については、統合を機に新たな制服を導入する意見をまとめ、その詳細については、引き続き協議するこ

ととした。また、①校名／校歌／校章については、「新しくした方がいいとの意見」と「『幌別中学校』を継続した方がいいとの意見」があり、それぞれの立場から活発に議論が交わされた。

●第2回（令和5年12月21日開催）

第2回会議では、①校名／校歌／校章について②制服のあり方について、引き続き協議を行った。このうち、制服のあり方については、統合時に全学年、全生徒が同じ制服を着用できるよう、令和7年度の新入学生から、統合前の両校で先行して新制服を導入する考えがまとめられた。また、校名、校歌、校章については、事務局から、統合に合わせて校舎を新設する場合には他市でも校名を新しくする例があるが、既存の校舎を使用する場合には継続するケースが多いとの説明があったほか、令和17年度までにさらに西陵中学校との統合が想定されているとの説明があり、それも参考に議論した。登別中学校区の関係者からは、両校は距離的にも心理的にも距離があり、一体感を出すためにも校名などは新しくした方がいいとの意見のほか、統合に対するマイナスイメージを無くすためにも必要との意見があった。対して、幌別中学校区の関係者からは、校名等も大切だが、教育の中身の部分で新しい学校を作ることが大切との意見のほか、校名などを変えらば、地域住民や同窓生の理解を得るのに相当の時間を要するとの意見があり、長時間にわたり議論したが結論は出ず、次回あらためて協議することとなった。

●第3回（令和6年2月7日開催）

第3回会議では、校名、校歌、校章について、それぞれの立場から活発に意見が交わされた結果、今回は校舎の新設を伴わず、引き続き校舎を使用する学校名等を継続することが理解しやすいことから、制服を新しくし、特色ある教育の取組など両校の良さを活かすことで新しい学校を作っていく一方、校名、校歌、校章については、「幌別中学校」とする考えがまとめられた。なお、③特色ある教育の取組について④生徒同士の事前交流事業については、引き続き協議していくことを確認した。

2. 両校統合にあたっての課題への対応方法や環境整備に関する中間意見

幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会は、両校の統合にあたり生じる課題への対応方法や環境整備について、次のとおり中間意見を提出する。

① 校名／校歌／校章について

今回は幌別中学校の校舎を継続して使用することから、同校の校区拡大

と整理し、統合後の学校の校名、校歌、校章については、「幌別中学校」とする方向で検討すること。なお、統合にあたっては、(後述するとおり)新たな制服を導入することで一体感を創出するとともに、特色ある教育の取組など両校の良さを活かすことで魅力的な学校を作るよう努めること。

② 制服のあり方について

統合後の学校では新たな制服を導入することを基本に検討すること。なお、新制服の導入にあたっては、統合時に、全学年、全生徒が同じ制服を着用できるよう、令和7年度の新入学生より、統合前の両校で先行して制服を導入する方向で検討すること。

③ 幌別中学校への通学方法について

幌別中学校への通学方法については、スクールバスまたはスクールタクシーを基本に検討すること。なお、その運行方法などについては、バス事業者の動向が見えてきた段階で、あらためてP T Aなどと意見交換を行い、その結果を踏まえて検討すること。

なお、④特色ある教育の取組について⑤生徒同士の事前交流事業については、引き続き学校統合委員会で協議し、あらためて意見書を提出する予定であり、その内容を踏まえて検討すること。